

第39回入学式～中学校生活のスタート～

先週7日（木）に玉幡中学校第39回入学式を挙行了しました。保護者各家庭2名までと、来賓1名（甲斐市長 保坂武様）、在校生の代表として2、3年生の生徒会本部役員、学年生徒会役員そして先生方が参列し、新入生131名の中学校生活のスタートを祝うことができました。新入生のキラキラと輝く瞳と凛とした姿勢がとても印象的でした。これからは2、3年生とともに、新しい息吹でこの伝統ある玉幡中を新たな時代の玉幡中へと創りあげていってほしいと思います。保護者の皆様方、ご入学おめでとうございます。中学校3年間は大人への入口となる大切な学びの場となります。子どもと大人が同居する中学生。疾風怒濤の時代とも言われる中学校時代。そんな大切な時期だからこそ、しっかり方向を見定めて導き、支援しなければならない親と教師がバラバラになっていたのでは、困るのは生徒自身ということになります。この入学式を保護者の皆様と教師がチームとなり、一枚岩で子どもたちを支援していくスタートラインにしたいと存じます。よろしくお願い致します。



【新入生 誓いの言葉】

やわらかく暖かな風に舞う桜とともに、僕たちは玉幡中学校の入学式を迎えることとなりました。本日は、このような立派な入学式を行っていただき、たいへん感謝しています。先日僕たちは6年生として小学校を卒業しました。そして今日からは、1年生として玉幡中学校へ入学します。新しい制服に袖を通し、希望に満ち溢れた気持ちでいっぱいです。

僕は小学校生活で、わけへだてなく誰に対しても優しく接することを心がけてきました。中学校生活では、それに加え二つのことに力を入れていきたいです。一つ目は部活動と勉強の両立です。初めてのことなので不安はありますが、先生方、先輩方の教えに従い、一生懸命あきらめずに打ち込んでいきます。二つ目は、二度と来ることのない今、この瞬間を大切に、毎日を過ごしていきます。

中学校生活は三年間と、とても短いものです。一日一日を大切に、日々の中学校生活を充実したものにできるように、今、目の前にあるものに真剣に取り組んでいきます。校長先生や先生方、来賓の方々、上級生のみなさん、今日は入学式で励ましの言葉をかけていただき、本当にありがとうございました。みなさんからいただいた言葉を心に刻み、この玉幡中学校に入学できたことを誇りにもち、充実した中学校生活を送ることをここに誓います。